

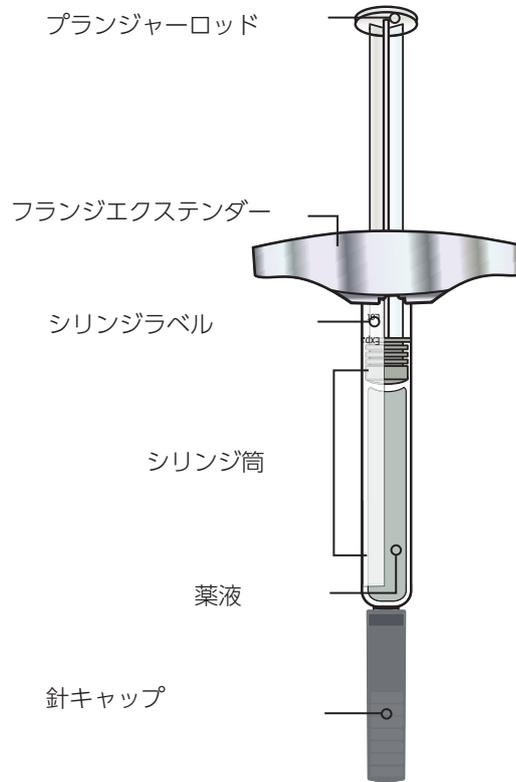


医療従事者向け取扱説明書：

イベニティ[®]皮下注105mgシリンジ

各部の名称

投与前



重要

イベニティ[®]皮下注105mgシリンジを投与する前に、下記の重要な事項をお読みください
全量（210mg）を投与するために、箱に入っている本剤は2本とも投与してください。

保存時の注意

- ・ 保存時は外箱に入れ、本剤が光や衝撃を受けないようにしてください。
- ・ 外箱のまま冷蔵庫に入れ、2～8℃で保存してください。
- ・ 凍結させないでください。

投与時の注意

- ・ ラベルに表示されている使用期限を過ぎた本剤は投与しないでください。
- ・ 外箱のまま冷蔵庫から取り出し、遮光した状態で30分程度かけて室温に戻してから投与してください。
- ・ 本剤を激しく振とうしないでください。
- ・ 注射の準備ができるまで針キャップを外さないでください。
- ・ 一度凍結した本剤を投与しないでください。
- ・ 硬いところに落とした本剤は投与しないでください。シリンジ筒にひびなどが見えなくても部分的に破損しているおそれがあります。新しい本剤を投与してください。
- ・ シリンジに天然ゴムラテックスは使用しておりません。

ステップ1：注射の準備



注射前に必ず本取扱説明書を読んでください。

- ・全量（210mg）を投与するために、本剤2本を1本ずつ順番に注射してください。

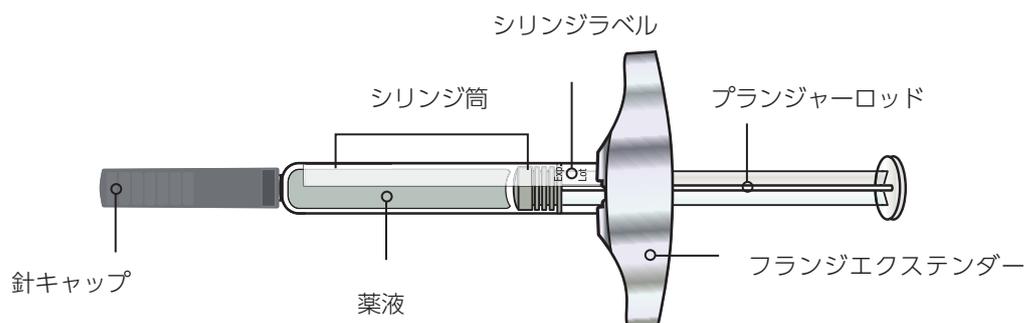
A シリンジ筒を持ってトレーから本剤を取り出します。

安全のために：

- ・プランジャーロッドを持たないでください。
- ・針キャップを持たないでください。
- ・注射の準備ができるまでは針キャップを外さないでください。
- ・フランジエクステンダーは外さないでください。シリンジの一部です。
- ・冷蔵庫から取り出し、遮光した状態で30分程度かけて室温に戻してから投与してください。
- ・一度室温に戻した本剤は冷蔵庫に戻さないでください。
- ・本剤をお湯や電子レンジなどの熱源を使って温めないでください。
- ・激しく振とうしないでください。

重要：本剤を持つ際は、必ずシリンジ筒を持ってください。

B 本剤を点検します。



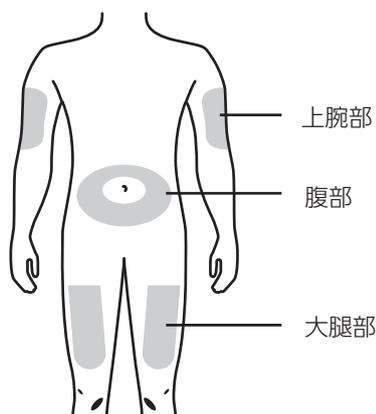
本剤を持つ際は必ずシリンジ筒を持ってください。

シリンジ筒内の薬液が透明で、無色から淡黄色であることを確認してください。

次の場合は使用しないでください。

- ・薬液に変色、にごり、浮遊物が認められる場合。
- ・シリンジ筒にひびが生じている場合や破損しているところがある場合。
- ・針キャップがない、または緩んでいる場合。
- ・ラベルに印字されている使用期限を過ぎている場合。

C 2本注射する部位をそれぞれ1か所ずつ決めて消毒します。



次の部位に注射できます：

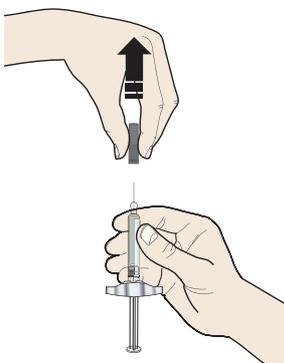
- ・大腿部
- ・腹部、ただしへそのまわり5センチ以内は避ける
- ・上腕部の外側



- ・皮下にのみ投与してください。
- ・注射する部位をアルコール綿で消毒し、皮膚を乾かしてください。
- ・注射するまで消毒した部位に触れないでください。
- ・1回の注射ごとに注射する部位を変えてください。
- ・皮膚が敏感なところ、挫傷、発赤または硬結している部位に注射しないでください。
- ・隆起、肥厚、発赤または落屑のある皮膚部位や病変、あるいは癬痕や妊娠線のある部位への注射は避けてください。

ステップ2：投与前の準備

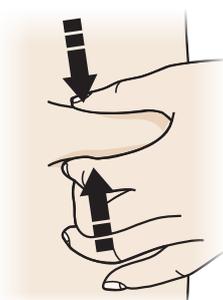
D 注射の準備ができたなら、1本目の本剤の針キャップをまっすぐに引き抜いて本体から外します。



針先に薬液がついていても問題はありません。

- ・針キャップをねじったり、曲げたりしないでください。
- ・針キャップをシリンジ筒に戻さないでください。
- ・注射の準備ができるまでは針キャップを外さないでください。

E 注射する部位をつまんで皮膚表面を硬くします。

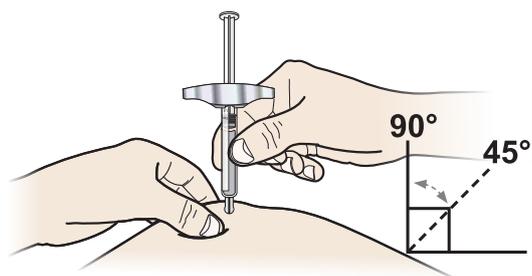


親指とほかの指で皮膚をしっかりとつまみ、皮膚表面を硬くします。

重要：注射中は皮膚をつまんだままにしておいてください。

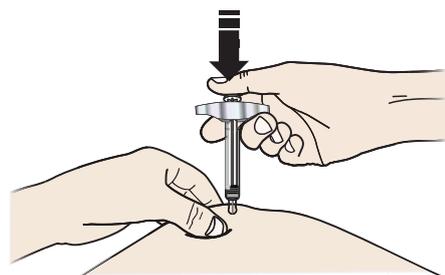
ステップ3：注射

- F** 皮膚をつまんだままにします。針キャップを外した状態で、注射針を45～90°の角度で皮膚に刺します。

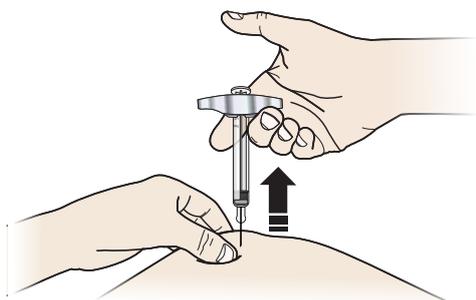


針を刺している間はプランジャーロッドに指をあてないでください。

- G** ゆっくりと一定の圧力をかけて、動かなくなるまで完全にプランジャーロッドを押し込んでください。



- H** 終わったら親指を離し、静かに本剤を持ち上げて注射針を皮膚から抜きます。



注意：皮膚から注射針を抜いたあと、シリンジ筒の中身は空になっています。

重要：シリンジ筒の中に薬液が残っているように見える場合は、全量を注射していないことになります。

ステップ4：終了

- I** 使用済みのシリンジは医療廃棄物の廃棄方法に従ってください。

- ・ 針刺しを防ぐために、一度外した針キャップは元に戻さないでください。
- ・ シリンジは再使用しないでください。

- J** 注射した部位を確認します。

出血していたら、注射した部位を綿球または滅菌ガーゼで押さえます。注射した部位をもまないでください。必要に応じて絆創膏を貼ってください。

- K** 全量（210mg）を投与するために、2本目の本剤を用いてステップ2からステップ4までを繰り返します。